

# 令和6年（1～12月） における火災の状況 （確定値）

## 防災情報室

### 1 総出火件数は37,141件、前年より1,531件の減少

令和6年（1～12月）における総出火件数は、37,141件で、前年より1,531件（4.0%）減少しています。これは、平均すると1日当たり約101件、約14分ごとに1件の火災が発生したことになります。

また、火災種別でみますと、次表のとおりです。

令和6年（1～12月）における火災種別出火件数

種別	件数	構成比	前年比	増減率
建物火災	20,972	56.5%	▲2	0.0%
林野火災	831	2.2%	▲468	-36.0%
車両火災	3,546	9.5%	25	0.7%
船舶火災	62	0.2%	4	6.9%
航空機火災	3	0.0%	2	200.0%
その他火災	11,727	31.6%	▲1,092	-8.5%
総出火件数	37,141	100%	▲1,531	-4.0%

※小数点第2位以下は、四捨五入

### 2 総死者数は1,451人、前年より52人の減少

火災による総死者数は1,451人で、前年より52人（3.5%）減少しています。

また、火災による負傷者は5,805人で、前年より39人（0.7%）増加しています。

令和6年（1～12月）における火災による死傷者数

人数		前年比	増減率	1日当たり	発生割合
死者数	1,451	▲52	-3.5%	4.0人	火災25.6件に1人
負傷者数	5,805	39	0.7%	15.9人	火災6.4件に1人

### 3 住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）数は1,030人、前年より7人の増加

建物火災における死者1,199人のうち住宅（一般住宅、共同住宅及び併用住宅）火災における死者は、1,109人となっています。更にそこから放火自殺者等（放火自殺（心中を含む。）者及び放火自殺巻き添え・放火殺人の犠牲者）を除くと1,030人で、前年より7人（0.7%）増加しています。

なお、建物火災の死者数に対する住宅火災の死者数の割合は92.5%で、建物火災の件数に対する住宅火災の件数の割合56.5%と比較して非常に高くなっています。

### 4 住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）のおよそ4人に3人が高齢者

住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）1,030人のうち、65歳以上の高齢者は779人（75.6%）で、前年より17人（2.2%）増加しています。

また、住宅火災による死者の発生した経過別の内訳は、逃げ遅れ465人（対前年比50人（12.0%）増）、着衣着火45人（対前年比7人（18.4%）増）、出火後再進入16人（対前年同）、その他504人（対前年比50人（9.0%）減）となっています。

### 5 出火原因として最も多いものは「たばこ」、次いで「たき火」

総出火件数の37,141件を出火原因別にみると、「たばこ」3,058件（8.2%）、「たき火」2,781件（7.5%）、「こんろ」2,718件（7.3%）、「電気機器」2,577件（6.9%）、「放火」2,377件（6.4%）の順に件数が多くなっています。

#### 問合せ先

消防庁防災情報室  
TEL: 03-5253-7526